

五加地区（東白川村）

【地域の概要】

- 白川町から東白川村へ入ると急峻な地形が飛び込んでくる。左側には石段で形成された茶畑、右側は白川の河川段坂が気を引く。
- 更に先へ進むと「白川茶発祥の地」の看板が目に入る。そう、ここは東白川村の西の玄関口「五加地区」です。
- 地域の農地の面積は61ha（田23ha、畑38ha）で、東白川村の16%を占めています。
- 農業の中心は、茶・米、畜産、花きで、中でも緑茶は、五加茶生産組合が遊休農地化を防ぐため利用権を設定し銘柄茶の生産販売に取り組んでいます。H28.3末が2.1ha→H33.3末見込みが3.5haです。肉牛は、新規就農者が飼育数80頭・生産数24頭を目標に5年満期に至る

取組開始前の状況や課題

- 五加茶の基本方針の確認（無農薬茶・独自販売）
- 基幹的農業者の意向の確認（肉牛、花き、茶）
- 水稻耕作等受委託の調整・確認
- 高齢者・高齢化・後継者不足への対応
- 不耕作地発生防止



写真：大沢集落茶畑の遠望

取組内容

- 五加地区における貸借の推進による不耕作農地の発生防止
- 基幹的農業者との連携による情報共有
- 不在所有者の農地の管理対応策の検討
- 農業委員・農地利用最適化推進委員の連携による情報の橋渡し
- 美しいむら推進事業による景観保全



写真：手軽に肥培管理ができる作物の導入

今後の展開と方向性

- 更に進む農業者の高齢化への対応策の検討・実施
- 地域内新規参入者との情報交換（農地の利活用の推進等）
- 不在農地所有者への対応マニュアルの策定と情報の提供



写真：今回新に利用権が設定された不在地主の農地

＜寺の無い村、播龍寺跡地を含む「白川茶発祥の地」を中心にした農地管理の現状＞



東白川村へのアクセス



東白川村 五加地区



農家の話し合いによる情報共有



農業委員・推進委員：把握した情報を地図に落とし込み協議